

授業改善プラン（第2学年）

目指す児童像	自分の考えを持ち、進んで自分の言葉で伝え合う児童	
教科	課題（児童の実態）	具体的な改善プラン・言語活動の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話す内容のメモを自分で書けない児童がいる。 ・自分の言葉で自信をもって発表できない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分でメモを書く機会を増やす。 ○ペアでの活動を増やし、個々で話したり聞いたりする機会を増やすとともに自分の考えを伝える抵抗を減らす。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の仕方等を自分の言葉で説明することが難しい。 ・基礎基本の定着に時間がかかる児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図や絵、式、言葉等を用いて考え、説明する活動をより多く取り入れる。 ○繰り返し声に出して唱えたり、問題に取り組んだりすることで身につけられるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことを表現する力が育っていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○色々な表現方法を紹介し、活用できるようにする。 ○グループでの活動をする機会を増やすとともに、全員が発表できる機会を増やす。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことが大好きである。怒鳴ったり乱暴な声で歌ってしまうことが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌声だけでなく、話し声も含め、「きれいな声」に気付かせる場面を多くつくる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しんで取り組んでいるが、楽しいあまり、活動のねらいからはずれてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体で活動を確認する時間を取ったり、友達の活動の様子を見あう場面を増やす。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の動きを把握できていない。 ・基礎的な身体能力や体力が身につけていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループで活動する機会を取り入れ、アドバイスをしたり、互いのよいところを見つれたりして、言葉で伝え合う機会を作る。 ○個々の運動量を増やし、体ほぐしの運動で様々な動きに触れさせる。
日常での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを相手に応じてわかりやすく伝える力が育っていない。 ・最後まで集中して話を聞く力が育っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝のスピーチでメモを取り入れ、それをもとに話す。 ○質問するときはスピーチで話していないことを聞くよう声をかけていく。 ○号車ごとに日記を書くことにより、友達の文章を読み、文章表現の幅を広げることができるようにする。